

UTPケーブルの製作手順

準備する物

- * 作業工具(ワイヤーカッター・ニッパ・圧着工具等)
- * 配線材料(UTPケーブル・モジュラープラグ(RJ-45))
- * ケーブルテスター



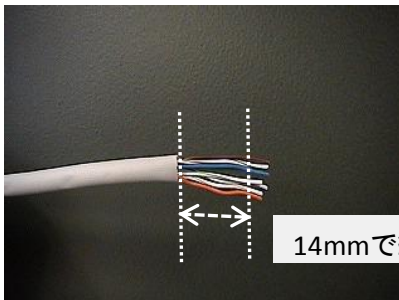
1



2



2-2



3-1



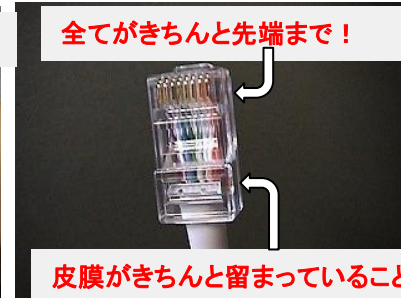
3-2



4



5-1



5-2

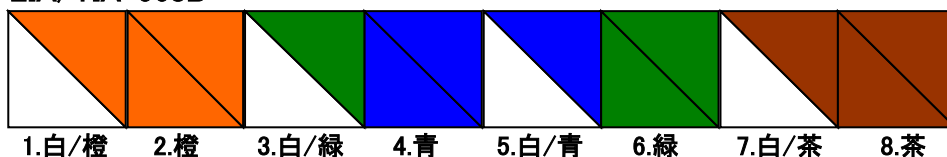


6

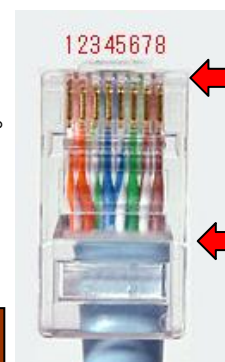
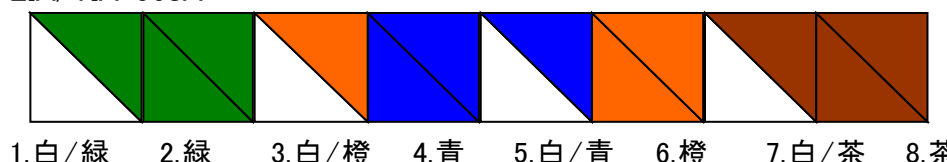
1. ケーブルを必要な長さに切断する。(今回は一人約1m以内、最低20cm)
2. ケーブルの被覆を2cm弱程度剥く。(圧着工具を利用)
3. 撚りを戻して線を番順に並べ、14mm(裏面参照)で端を綺麗に切り揃える。
4. ケーブルをプラグに挿入。(正面から目視で**全て綺麗に奥まで入っているか確認**)
(**外側の被膜が三角より奥にきちんと入っているか確認**)
5. 圧着工具で圧着。**目視チェック&抜けないかチェック**。
6. ケーブルテスターで**導通チェック**。(勿論両端を加工後)
右側中央がスイッチ、1-8緑、Straight赤点灯ならばOK。点滅、消灯はNG。

★ストレートケーブル＝両端が**568B**または**568A**(**568Bが一般的**)
(クロスケーブル＝片端が568A、もう片端が568B)

EIA/TIA-568B



EIA/TIA-568A



各線;先端まで!
被膜;奥まで!

